【三陸復興国立公園】

休暇村 気仙沼大島

教育旅行のご案内

自然にときめくリゾート 休暇村

国立公園
オフィシャルパートナー

1. 気仙沼大島はこんな島

宮城県北東部の気仙沼湾内に位置する東北最大級の有人離島です。2019年4月には気仙沼市鹿折との間に念願の「気仙沼大島大橋」が開通しました。北部にそびえる海抜235mの亀山からは全島が一望でき、その景色は「緑の真珠」と大島出身の詩人 水上不二の詩にも詠まれています。

島の海岸線は屈曲が著しく、龍舞崎、十八鳴浜、小田の浜など自然がつくり出した美しい景観が多くみられます。陸中海岸国立公園と海中公園に指定されている気仙沼大島は、「見て・遊んで・楽しめる」気仙沼には欠かせない観光地となっています。（気仙沼観光協会より引用）

三陸ジオパーク Sanriku Geopark

三陸ジオパークは平成25年9月に日本ジオパークとして認定されました。エリアは青森県八戸市から岩手県の沿岸を縦断して宮城県気仙沼市まで。南北約220km、東西約80kmで、その海岸線は約300kmにもおよぶ日本一広大なジオパークです（2014年3月現在）。

三陸地域では、地球の活動によって形成されたさまざまな自然の造形を見ることができますが、これらは昔から現在の形でそこにあったものではありません。
太古の時代から続く地球の営みが長い時間をかけて少しずつ造ってきたものであり、今日までの地球の歴史が刻み込まれているのです。
その痕跡を「科学の目」を通してみることで、いつ、どこで、どのようにしてできてきたのかを知ることができます。
三陸地域は、地球活動の歴史を実際に見ることができる地域（ジオサイト）に恵まれています。
従来の観光に、地質学、地理学のような科学的視点を含む「ジオツーリズム」を取り入れることで、新しい魅力が加わります。

（三陸ジオパークオフィシャルWebサイトより引用）

2. 気仙沼だからできること （宮城県教育旅行ガイドより引用）

自然体験　食文化体験　伝統工芸体験　歴史文化　震災学習

気仙沼市

「海と生きる」自然・歴史・産業・防災・ジオから「生きる力」を学ぶ

気仙沼観光コンベンション協会

宮城県北部の気仙沼市は、リアス海岸の海と豊かな山々に抱かれた美しい自然に支えられています。親潮と黒潮がぶつかる資源豊富な海とリアス海岸特有の地形により、海と山との両方から恵みを受け、独自の食文化や生活様式を大切に育んで魅力あるまちづくりを進めています。

学習のねらい・学習効果 Point!

Point 1 東日本大震災を体験した語り部の生の声や、震災に係る各施設(リアスアーク美術館、ビジターセンター津波体験館)での体験を通じて、「生きる力」「震災時の対応」「災害に対する日頃の備え」を学ぶことができます。

Point 2 気仙沼の全地域をフィールドとして、美しく豊かな海の「めぐみ」を支える森と川、海のつながりを体感することで、「自然と生きることの大切さ」「自然の恩恵」「環境保全」などを考える場となります。また、三陸沿岸随一の水産業の都市として、魚市場をはじめとした水産業に係る学習もできます。

Point 3 東日本大震災により甚大な被害を受けた中、再び「海と生きる」ことを決意し、自然とのかかわり方を日々模索してきました。各体験にその思いが込められており、自然・歴史・産業・防災の多面的な角度から、総合的に「生きる力」を学習することができます。

気仙沼観光コンベンション協会からのメッセージ

日本ジオパークに認定された三陸復興国立公園の南部、リアス海岸特有の美しい景観をもち、養殖・近海漁業の深い歴史がある「唐桑地区」。鉱山や林業で栄え伝承や民話、歴史や文化財など数多くの魅力があふれる里山地域「八瀬地区」。仙台藩御塩場としての歴史を持つとともに、先端の岩井崎にはペルム紀化石産地の標準地のひとつとして2億5千万年前のサンゴや有孔虫を含んだ石灰岩が見られる「階上地区」。魅力ある各地域とともに、国内有数の見学デッキを持つ魚市場や震災の教訓を伝える充実した各施設、語り部、体験プログラムをそろえています。それらのコンテンツをつなげるワンストップの受け入れ窓口を整備し、学習目的に合わせた受け入れを可能としていますのでぜひご活用ください！

事務局次長
熊谷 俊輔さん

お問い合わせ **気仙沼観光コンベンション協会**
TEL.0226-22-4560 FAX.0226-22-9280

住　所　〒988-0037　気仙沼市魚市場前7-13 海の市2F
アクセス　仙台駅から150分（東北自動車道―関ICから70分）、平泉から車で80分、日本三景松島から車で120分
e-mail　k-kanko@k-macs.ne.jp
ホームページ　http://www.kesennuma-kanko.jp/

●まちむら交流きこうコーディネートシステム登録地域協議会（登録名：気仙沼市アグリアス・ツーリズム連絡協議会）
●子ども農山漁村交流プロジェクト受入モデル地域（登録名：気仙沼市アグリアス・ツーリズム連絡協議会）

受入人数目安　200名
受入実績　41団体 2,690名（平成28年度）
安全・安心対策
- 緊急時における避難体制の整備及び避難経路の事前確認
- 緊急時における連絡体制の整備　・安全講習、衛生講習の開催
- ファームステイ保険加入（民泊）
- 各種インストラクター講習を受講した指導者多数

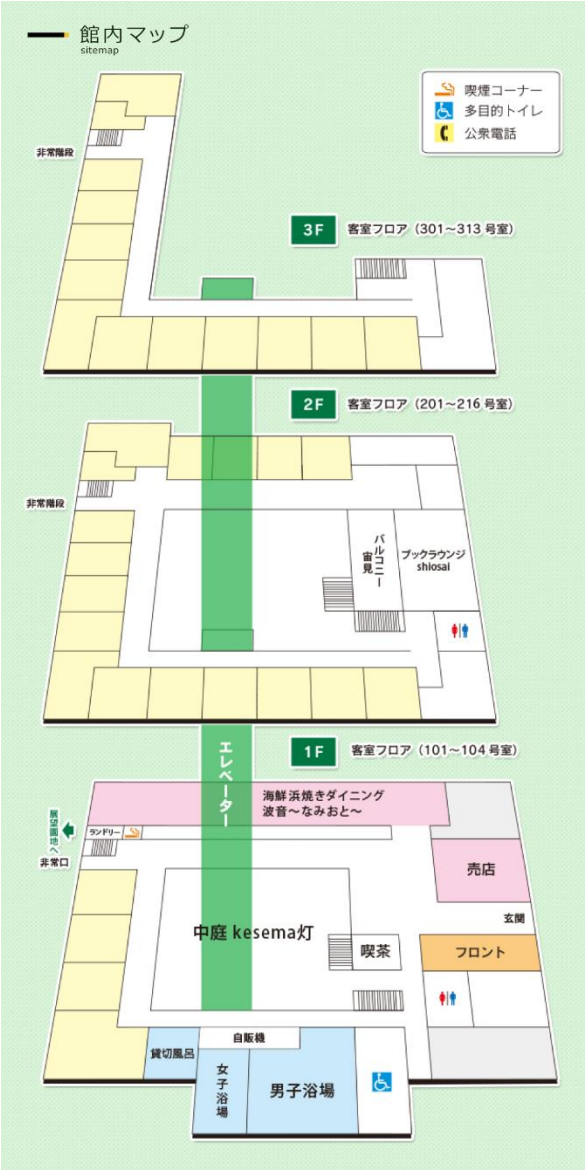
3. 休暇村気仙沼大島について

施設詳細について

[客室数]
33室
[主な部屋タイプ]
バストイレ付和室　2室
バストイレ付和洋室　2室
プレミアム和洋室　2室
バルコニー付き和洋室　3室
バスなし・トイレ付和洋室　4室
バスなし・トイレ付和室　20室

[収容数]
106名(最大収容人員)
[一括最大食事席]
レストラン　100名
[貸切基準]
80名以上
[多目的室]
最大42名

4. 休暇村気仙沼大島　館内施設



4. 休暇村気仙沼大島　館内施設

プレミアム和洋室

バルコニー付き和洋室

和洋室

和室

ブックラウンジ　shiosai

中庭　kesema灯

大浴場

貸切風呂

5. 休暇村気仙沼大島　食事のご案内

～ 夕食のご案内 ～（一例です）

Aコース（スタンダードコース）

・マンボウ酢味噌和え
・八幡平ポークの陶板焼き
・洋皿（鶏の唐揚げ、エビフライ、骨付きフランク）
・サメの西京焼き
・大島産ホタテのホイル焼き
・ご飯
・吸い物
・デザート

Bコース（気仙沼港町料理）

・ホヤサラダ
・メカジキとマルズワイガニの陶板焼き
・洋皿（鶏の唐揚げ、鮫フライ、シャークナゲット）
・カツオとメカジキのお刺身
・大島産ホタテのホイル焼き
・ご飯
・吸い物
・デザート

Cコース（ふかひれ付きDXコース）

・小鉢　ホヤサラダ
・刺身　カツオとメカジキ
・鍋物　八幡平ポークとマルズワイ
・蒸物　ふかひれ玉地蒸し
・洋皿　鶏の唐揚げ、鮫フライ、シャークナゲット
・焼物　メカジキのハーモニカ焼き
・汁物　ふかひれスープ
・ご飯
・デザート

※通常料金より1,000円増しです。

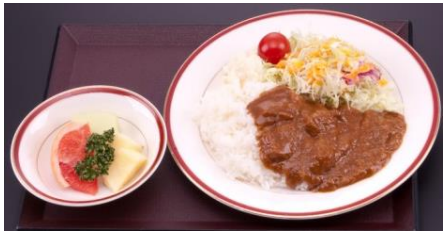
～ 朝食のご案内 ～（一例です）

和食コース

洋食コース

ご朝食はバイキング形式での
ご用意も可能です。
お気軽にお問い合わせください。

～ 昼食のご案内 ～（一例です）



・カレーや丼ものなどのご用意です

※上記メニューは一例です。内容は季節により変更になりますので、ご予約決定時には改めて決定メニューをご提示させていただきます。

6. 休暇村気仙沼大島　利用案内

◎ 客室備品について

テレビ	有料のビデオシステムはありません。 リモコンは外せます。（本体操作は可能）	冷暖房	全館一斉空調（冷房・暖房）
TEL	生徒様のお部屋の受話器は、取り外します。	冷蔵庫	お部屋の冷蔵庫は、中は空の状態です。
茶器セット・ポット	生徒様のお部屋の茶器セット・ポットは、取り外します。	ドア	非難経路等を表示してあります。 オートロック式では、ありません。
ルームキー	お部屋のテーブルに置く、フロントでの対応、ルームキーCUTを選択できます。	館内移動	館内移動は、スリッパにて対応できます。 CUTも可能です。
客室金庫	お部屋に備え付けです。 CUTもできます。	枕	和室は押入れに備え付け。洋室はベット上に用意。 羽毛枕です。
貴重品袋	お部屋入れ、又は、開校式にお渡しできます。 返却はフロント対応です。	タオルなど	生徒様は、洗面道具も含めてご持参ください。
ドアペーパー	ドア周辺に表示等可能です。	お布団の準備	和室は押し入れに備え付け。セルフサービスにて。 洋室はベットを用意。
ドライヤー	備え付けドライヤーを利用可能です。 それ以外は不可です。	お布団の片づけ（退出日）	和室は、枕カバー・布団カバー・シーツを取り外し、廊下へ置いてください。布団と枕は部屋の隅に置いてください。 洋室は、枕カバーを取り外し、廊下へ置いてください。

◎ 館内設備について

ジュース	1階フロント横に自動販売機あり。CUT不可	タバコ	取り扱いありません。
アルコール	1階フロント横に自動販売機あり。。 貸切時利用時CUT可。	アイス	売店にて販売。

6. 休暇村気仙沼大島　利用案内

◎ 館内設備について

売店	営業時間はご相談ください。 貸切時のみCUTも可能です。	エレベーター	生徒様の利用は、ご遠慮いただいております。
喫茶	貸切時のみCUTも可能です。	非常口	お部屋のドアに非常口の案内があります。 火災等非常時には、係員の指示と経路に従い、集合場所の駐車場又は、芝生広場に避難をしてください。
館内放送	1階フロント（事務所）に全館放送用マイクあり。 貸切時のみ利用可能です。 食事会場はワイヤレスマイクを用意します。		

◎ お食事について

メニューについて	セットメニューとなります。	アレルギー	出来るだけの対応をいたしますので、生徒様のアレルギー情報を事前にお知らせください。
お食事時間について	事前にお食事時間を、ご相談ください。	お夜食	反省会等の会場とお夜食、お飲物をご用意可能です。 お時間等事前にお知らせください。
後片付けについて	各お部屋ごと、又は、班ごとに、テーブルに同じ食器をまとめ、バケツに食べ残しをまとめてください。	生徒様の 水筒の給茶	広間入り口付近に、クラス毎にテーブルをご用意いたします。生徒様の水筒に給茶をしますが、中を洗浄し、内蓋のみ上に置いてください。

◎ 入浴について

入浴貸切時間の設定	一般同宿の場合は事前に入浴貸切時間をお知らせください。できるだけ16：00～18：00の時間帯を外していただく様お願いします。	客室のお風呂	和洋室2室・10畳和室2室にてご利用可能です。

◎ 貸切対応について

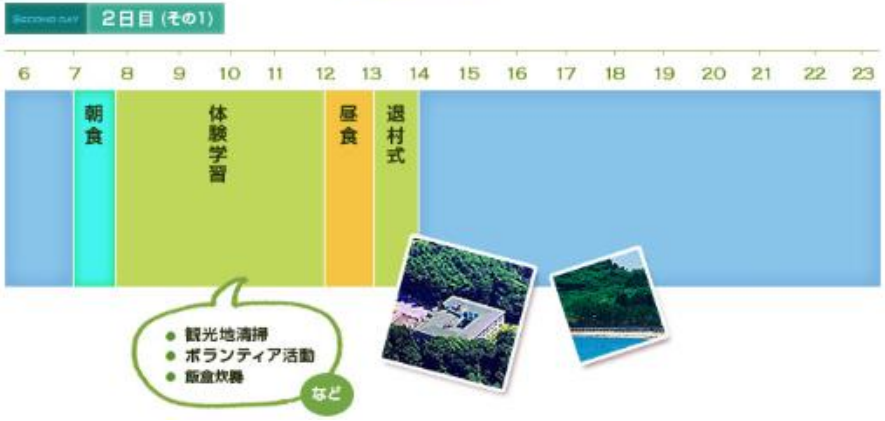
貸切対応	一般のお客様と同宿が基本ですが、貸切にも対応させて頂きます。 ご人数の詳細をお伺いした後、休暇村担当者より使用していただく客室をお渡しします。お渡しした客室内でお部屋割りを行なってください。

7. モデルコース

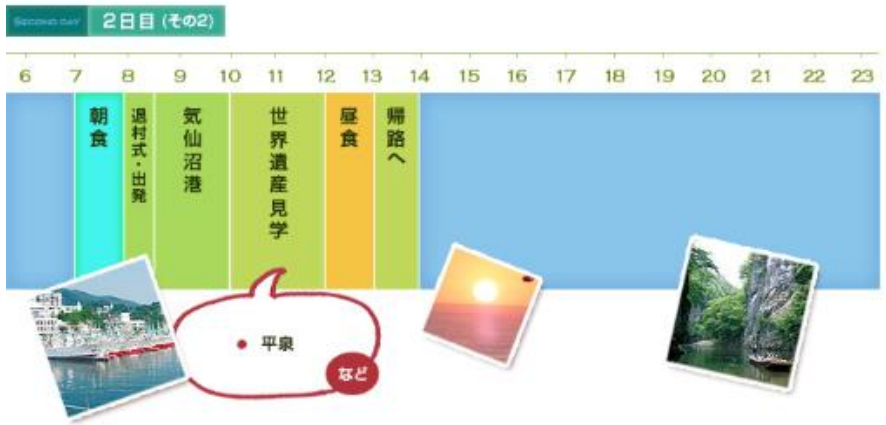
1泊2日間コース

FIRST DAY 1日目

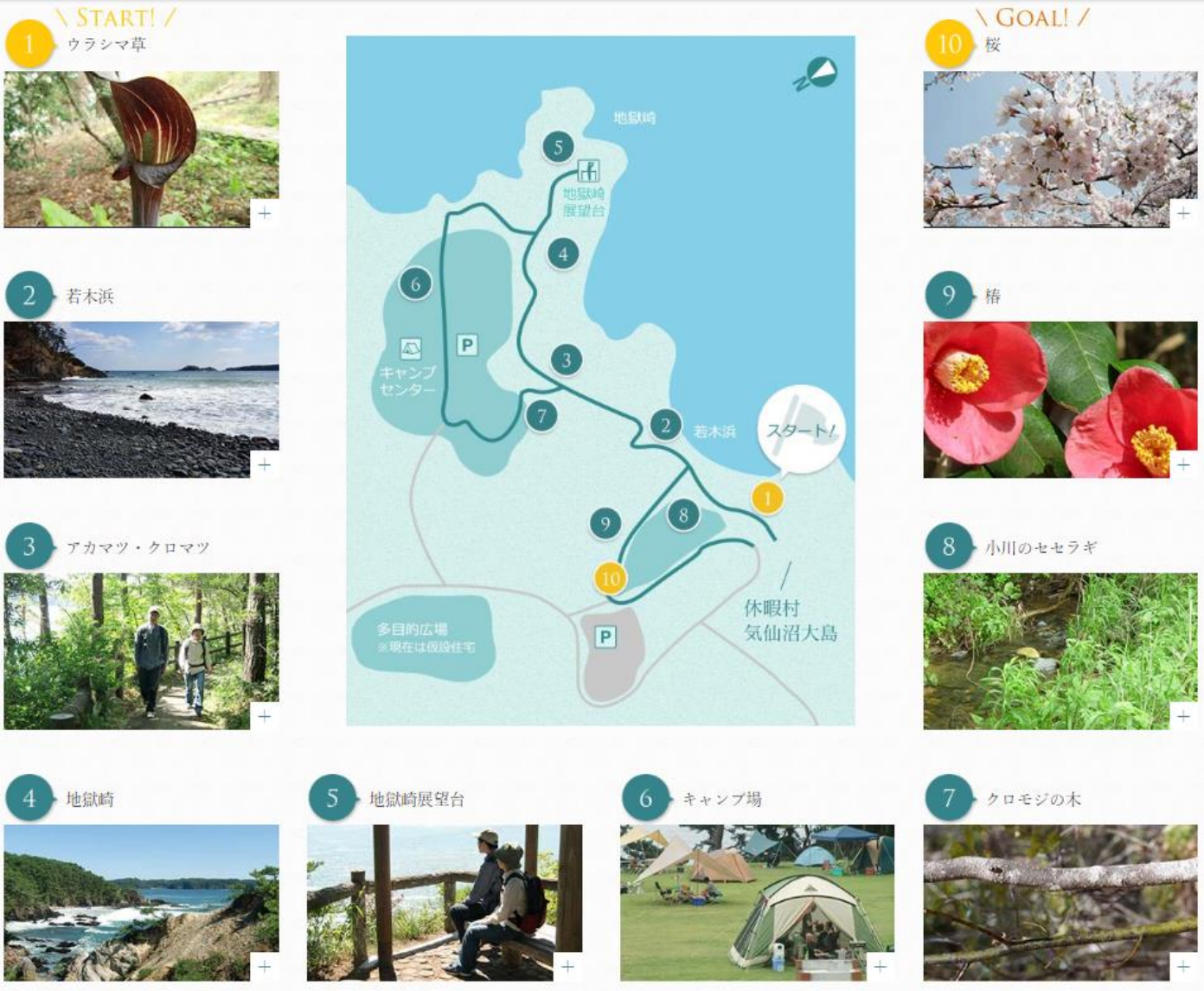
SECOND DAY 2日目（その1）



SECOND DAY 2日目（その2）



8．ハイキングコース①　自然の小径（気軽に歩ける散歩道）



［コース概要］
所要時間：約40分
距離：2km

若木浜を経由して地獄崎まで行くコースです。若木浜は石灰岩の荒々しい岩肌が、まるで地獄のようであることからその名が付きました。地獄崎展望台からは大前見島・小前見島や唐桑半島を望むことができます。

8．ハイキングコース②　ふれあいのみち（自然を感じるコース）

\ START! /
1 光明寺入口

2 大島浦の浜港

3 大島小学校前

\ GOAL! /
10 田中浜

9 長崎漁港

8 小田の浜

4 大島開発センター

5 長命寺

6 龍舞崎

7 龍舞遊歩道

[コース概要]
所要時間：約150分
距離：15km

島内をぐるっと散策するウォーキングコース。リアス式海岸特有の起伏のあるコースですが潮騒と湾内・太平洋を眺めながら歩く絶景が楽しめるコースです。

8．ハイキングコース③　ふれあいのみち（自然を感じるコース）

コース内容　総コース…5km／徒歩2時間30分

海水の浸食によってできた奇岩が続く海岸コース。巨釜や半造、折石、早馬山などの景勝地をめぐります。また、早馬山山頂に鎮座する早馬神社など、この唐桑、三陸海岸の自然や歴史、文化にふれることができます。

ワンポイントアドバイス

季節により風が強い場合がございます。

コースの見どころ

※それぞれの番号は地図中の番号と対応しています。

スタート 巨釜

大理石の海蝕による奇岩が連続するところで、沖から沖合いに目をやると、あたかも大きな釜の中でお湯が煮えたぎっているように見えます。

1 半造

海岸線は遊歩道が整備されており、海蝕によってできた奇岩を眺めながら太平洋を一望できます。

3 漁火パーク

親子で楽しめるアスレチックやゴーカート、展望風呂などがあります。
TEL0226-32-4340
9:30～17:00※レストランは10:30～21:00／木曜定休（祝日の場合は翌日）

4 早馬山

標高220mの小さな山ですが、眺望は最高です。

飯盒炊爨

飯盒炊爨で食事を作ります。
班の仲間と協力して、美味しい食事と楽しい思い出を作りましょう。

実施時間	約3時間
定員	150名程度まで
最少実施人数	1クラス～
体験場所	休暇村気仙沼大島キャンプ場（本館から徒歩10分）
服装・履物	多少汚れてもよい恰好をおすすめします
持ち物	軍手、うちわ
休暇村で用意するもの	食材、調理器具、食器、鍋、飯盒、薪、着火剤、洗剤、たわし
	～例：カレーセットの場合（1班分）～ ①用具他 鍋×1、ボウル×1、ザル×1、まな板×1、包丁×1、お玉×1、飯盒（4合）×1、しゃもじ×1、カレー皿×人数分、スプーン×人数分、薪×1 ②食材 玉葱、じゃがいも、人参、カレールー、米、豚肉、バナナ
メニュー	・カレー ・バーベキュー
キャンセル料	※キャンセル料に関しては、別途料金表にて。

体験内容例

①飯盒の説明をします
②食材、用具、薪をお渡しします
③飯盒炊爨を実施します
④後片付けをします

キャンプ場設備

共同炊事棟×3箇所　・　トイレ×2箇所

各炊事棟　・2箇所（A・C地区）…蛇口×12、かまど×10
・1箇所（B地区）…蛇口×12、かまど×12

緊急時の連絡先

八瀬エリア

■警察
気仙沼警察署
気仙沼市赤岩杉ノ沢47番地6　気仙沼警察署仮庁舎　TEL 0226-22-7171

■消防署
気仙沼消防署
気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2　TEL 0226-22-6688

■病院
気仙沼市立病院
気仙沼市田中184番地　TEL 0226-22-7100

階上エリア

■警察
気仙沼警察署階上駐在所
気仙沼市長磯前林73　TEL 0226-27-2709

■消防署
気仙沼消防署
気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2　TEL 0226-22-6688

■病院
鈴木医院
気仙沼市長磯原ノ沢50-2　TEL 0226-27-2315

本吉エリア

■警察
気仙沼警察署本吉駐在所
気仙沼市本吉町津谷館岡97番地の1　TEL 0226-42-2614

■消防署
気仙沼消防署本吉分署
気仙沼市本吉町津谷松尾1-1　TEL 0226-42-2629

■病院
気仙沼市立本吉病院
気仙沼市本吉町津谷明戸222-2　TEL 0226-42-2621

唐桑エリア

■警察
気仙沼警察署小原木駐在所
気仙沼市唐桑町岩井沢103-1　TEL 0226-34-3616
気仙沼警察署唐桑駐在所
気仙沼市唐桑町馬場181-1（臨時）　TEL 0226-32-3107

■消防署
気仙沼消防署唐桑出張所
気仙沼市唐桑町馬場183-4　TEL 0226-32-3138

■病院
小野医院
気仙沼市唐桑町宿浦405-8　TEL 0226-32-3128
佐藤歯科医院
気仙沼市唐桑町馬場209-1　TEL 0226-32-2309

気仙沼大島エリア

■警察
気仙沼警察署大島駐在所
気仙沼市遮窗120-5　TEL 0226-28-2619

■消防署
気仙沼消防署大島出張所
気仙沼市遮窗113-1　TEL 0226-28-3098

■病院
大島医院
気仙沼市高井215-2　TEL 0226-28-2603

夜間・救急時の連絡先

気仙沼市立病院	TEL 0226-22-7100
気仙沼警察署	TEL 0226-22-7171
気仙沼消防署	TEL 0226-22-6688

お問い合わせ先一覧

気仙沼観光コンベンション協会　〒988-0077 宮城県気仙沼市古町三丁目2-41
TEL 0226-22-4560　FAX 0226-22-9280　http://www.kesennuma-kanko.jp/

気仙沼市産業部観光課　〒988-8501 宮城県気仙沼市八日町一丁目1-1
TEL 0226-22-3438　FAX 0226-24-5519

気仙沼大島観光協会　〒988-0605 宮城県気仙沼市浦の浜108-11
TEL 0226-28-3000　FAX 0226-28-3880　http://www.oshima-kanko.jp

唐桑町観光協会　〒988-0554 宮城県気仙沼市唐桑町崎浜4-3
TEL 0226-32-3029　FAX 0226-32-3029　http://www.karakuwa.com/

気仙沼市階上観光協会　〒988-0241 宮城県気仙沼市波路上岩井崎3-2
TEL 0226-27-5410　FAX 0226-27-5410

八瀬・森の学校　〒988-0868 宮城県気仙沼市関根240-1
TEL 0226-55-2323　FAX 0226-55-2323　携帯 090-3981-5967（事務局長 吉田勝彦）

本吉町観光協会　〒988-0273 宮城県気仙沼市本吉町三島94-12
TEL 0226-44-3180　FAX 0226-44-3181

三陸復興国立公園
気仙沼へのアクセス

平泉
一関 — 気仙沼
仙台 — 松島
東京

気仙沼市のあらまし
（平成25年8月現在）
面　積／333.37㎢　　人　口／68,642人
世帯数／25,835世帯

【位置と気候】
宮城県の最北端、北上山地の東南部に位置し、気仙沼湾の湾口には緑の真珠と称えられる美しい島・大島を抱き、四季静穏な天然の良港を形成している。宮城県内陸部に比較して温暖な海洋性気候です。

JRで
東京駅 ―(東北新幹線 最短2時間40分)― 一ノ関駅 ―(大船渡線 快速で1時間59分)― 気仙沼駅
仙台空港駅 ―(仙台空港鉄道 快速で約17分)― 仙台駅 ―(仙石線・東北本線 快速で約1時間)― 石巻駅 ―(気仙沼線BRT 直通で約1時間)― 気仙沼駅

お車で
川口JCT ―(東北自動車道 約5時間)― 一関IC ―(国道284号 約1時間10分)― 気仙沼駅
仙台東IC ―(三陸自動車道 約55分)― 登米東和IC ―(国道346号 約1時間15分)― 気仙沼駅

飛行機で
仙台空港IC ―(仙台東部道路 約5分)― 登米東和IC ―(国道346号 約1時間15分)― 気仙沼駅
仙台空港IC ―(仙台東部道路・三陸自動車道 約1時間10分)― 一関IC ―(国道284号 約1時間10分)― 気仙沼駅
花巻空港IC ―(花巻南IC・東北自動車道 約5分)― 金ケ崎IC ―(東北自動車道 約40分)― 一関IC ―(国道284号 約1時間10分)― 気仙沼駅

目次

アクセス ……2P
気仙沼大島エリア ……4P
唐桑エリア ……6P
階上エリア ……8P
八瀬エリア ……9P
本吉エリア ……10P
モデルプラン ……11P
防災学習 ……12P
旬の恵み ……14P
復興商店街 ……15P
緊急時の連絡先・お問い合せ先 ……16P

気仙沼大島（けせんぬまおおしま） エリア

エリアガイド

気仙沼港から船で約25分。気仙沼湾に浮かぶ気仙沼大島は“緑の真珠”とも呼ばれる周囲約24㎞の美しい島です。地引網、シーカヤック、海水浴、釣り、養殖いかだ見学など、四季折々の自然の中で様々な体験ができます。国指定天然記念物の貴重な鳴砂の浜十八鳴浜や亀山山頂から望む太平洋や唐桑瀬戸の光景は一見の価値があります。

おすすめ体験

地引網体験

沖合いに仕掛けておいた袋状の網を二手に分かれて砂浜から引き上げる漁法です。引き手のチームワークが大切で、お互いのバランスをとりながら網を引き上げます。海に対する感謝の気持ちや仲間と協力することの大切さを学ぶことが出来ます。

おすすめ体験

シーカヤック体験

1本のパドルを操って海と一体となれるシーカヤック。インストラクターの指導のもとに気仙沼大島の美しい海で潮風を感じながら海上散歩を満喫できます。

おすすめ体験

食体験

イカの塩辛、ゆず入りアイス

昔から島の家庭で保存食として作られていたイカの塩辛や、温暖な気候を利用して栽培されたゆずが入ったアイス作り。郷土料理作りと「気仙沼大島」ならではの食の体験が楽しめます

漁師の瓶玉作り、ボランティア体験（要相談）、防災教育、島めぐり講話　他もあります !!

お問い合わせ先

気仙沼大島観光協会

気仙沼大島の観光案内や情報提供、体験メニューや宿泊施設の手配なども行っています。

〒988-0605 宮城県気仙沼市浦の浜108-11

TEL 0226-28-3000　FAX 0226-28-3880　http://www.oshima-kanko.jp

KESENNUMA OSHIMA AREA

気仙沼大島エリア

唐桑（からくわ）エリア

エリアガイド

唐桑半島の海岸線は、北部の大理石海岸地区、三陸復興国立公園の景勝地のなかでも名高い「折石」のある中部の巨釜・半造地区、そして南の御崎に分けられ、太平洋側は荒波が海岸線を洗いダイナミックな景観が続きます。また西側の海岸は、唐桑瀬戸とも呼ばれ、さまざまな養殖がおこなわれる恵みの海になっています。

おすすめ体験

郷土料理体験

唐桑の特産品である大唐桑を使って、うどんやはっとなどを作ります。また、新鮮な海の幸なども使って料理を作ります。地元の人々との交流も含めて、食事を作る楽しさや自然の恵みに感謝することを学びます。

おすすめ体験

養殖施設見学

作業小屋でカキの「種仕込み」や「耳つり」などを体験したあと、船に乗り込み養殖イカダへ移動。漁師さんのお話を聞きながら「垂下」作業を体験。海とともに生活することを知り、海のありがたさを学びます。

おすすめ体験

唐桑半島ビジターセンター 津波体験館見学

唐桑半島ビジターセンターでは、唐桑半島の自然や暮らし、過去の津波資料や東日本大震災の津波の写真展示を、また津波体験館では、東日本大震災の映像を新たに加え、音・風・振動などで津波の疑似体験が可能です。震災について知り、防災意識を持つことの必要性が学べます。

津波体験語り部、巨釜・半造遊歩道　他もあります!!

お問い合わせ先
唐桑町観光協会
唐桑半島の観光案内や情報提供、体験メニューや宿泊施設の手配なども行っています。
〒988-0554 宮城県気仙沼市唐桑町崎浜 4-3
TEL 0226-32-3029　FAX 0226-32-3029　http://www.karakuwa.com/

KARAKUWA AREA

唐桑エリア

階上（はしかみ）エリア

HASHIKAMI AREA

エリアガイド

三陸復興国立公園の南端、岩井崎はペルム紀化石産地の標準地のひとつ。2億5千万年前のサンゴや有孔虫を含んだ石灰岩が波に洗われ現在の奇観を形成しています。震災によって奇跡的に表れた竜の松、ダイナミックに潮を噴き上げる潮吹岩の付近には、江戸時代に活躍した郷土出身の第9代横綱「秀ノ山」の銅像が立っています。

おすすめ体験

塩づくり体験

岩井崎周辺は、かつて、仙台藩御塩場として塩作りが盛んに行なわれていました。塩作りを通して、海からの恵みを感じ、昔の塩作りの方法について学ぶことができます。体験終了後には自分が作った自分だけの塩を持ち帰ることができます。

三陸復興国立公園 岩井崎ガイド 他もあります!!

お問い合わせ先
気仙沼市階上観光協会
階上地区の観光案内や情報提供、体験メニューの手配なども行っています。
〒988-0241 宮城県気仙沼市波路上岩井崎 3-2
TEL 0226-27-5410
FAX 0226-27-5410

八瀬（やっせ）エリア

YASSE AREA

エリアガイド

気仙沼市街地から北西に位置する八瀬地区は多くの伝承や民話、歴史や文化財など数多くの魅力あふれる里山地域です。豊かな自然のなかでの農業体験や民泊体験、食育体験を通じて「人と自然の結びつき」を実感することができます。笑顔あふれる地域住民が一丸となった受け入れ体制のなかでゆったりとした体験ができます。

おすすめ体験

そば打ち体験

築約90年の旧月立小学校の校舎内で、八瀬のそば粉を使ってそばを作ります。自分自身でそば粉を「練って、伸ばして、切って」を体験することにより、食事を作ってくれる人や作物に対する感謝の気持ちを学ぶことができます。

おすすめ体験

民泊体験

農家のお宅に宿泊し、田舎の暮らしを体験します。農家の方々との交流をとおして「人の温かさ」を学ぶことができます。

炭焼き体験、農業体験　他もあります!!

お問い合わせ先
八瀬・森の学校
八瀬地区の民泊の情報提供、体験メニューの手配を行っています。
〒988-0868 宮城県気仙沼市関根 240-1　TEL 0226-55-2323
FAX 0226-55-2323　携帯 090-3981-5967（事務局長 吉田勝彦）

本吉エリア

MOTOYOSHI AREA

エリアガイド

気仙沼市街地から南に位置する本吉エリア。海岸線沿いは被災からの復旧作業が行われ、道の駅大谷海岸と農林水産物直売センターが営業を再開。内陸部には平泉の黄金文化を支えた大谷鉱山の歴史を伝える資料館、そして太平洋を望むことのできる52haの丘陵地に広がる緑豊かな放牧場「モ～ランド・本吉」があります。

おすすめ体験

モ～ランド・本吉「まきばの学校」

アイスクリームやバター、カッテージチーズなどの乳製品やソーセージの手づくり体験ができます。また、乳牛の乳搾り体験、やぎ、ひつじ、うさぎなどの動物と触れ合うことができます。

- 手作り体験
  まきばのがっこう
  TEL 0226-29-6208
  FAX 0226-29-6208
- 動物とのふれあい体験
  動物とのふれあい
  TEL 0226-43-2468
  FAX 0226-43-2468

お問い合わせ先
本吉町観光協会
本吉町の観光案内や情報提供、体験メニューや宿泊施設の手配なども行っています。
〒988-0273 宮城県気仙沼市本吉町三島 94-12
TEL 0226-44-3180　FAX 0226-44-3181

体験・教育旅行 モデルプラン

人・海・山との共存・共生「いのちの授業」コース

50名までのモデルコース

1日目
12:30 気仙沼到着（昼食） 13:30 → 14:00 震災復興語り部 1時間・内湾周辺 15:00 → 15:30 塩作り体験 階上地区 16:30 → 17:00 市内宿泊施設へ

2日目
9:00 宿泊施設出発 → 9:30 唐桑半島ビジターセンター見学 唐桑地区 10:30 → 11:00 漁業体験 唐桑地区（昼食） 15:00 → 16:00 民泊先へ 八瀬地区

3日目
6:00 農業体験 八瀬地区 9:00 → 10:00 そば作り体験 八瀬地区（昼食） 13:00 → 帰路

★このコースの特徴★
気仙沼の広い範囲を利用して、人と自然との共存・共生について学ぶと共に、「いのち」の大切さを学ぶことができます。

防災～ボランティア～海のめぐみ～人とのふれあい「きずなの学習」コース

50名以上のモデルコース

1日目
12:30 気仙沼到着（昼食） 13:30 → 14:00 震災復興語り部 1時間・内湾周辺 15:00 → 15:20 気仙沼大島到着（入島式） 15:45 → 16:30 宿泊施設へ

2日目
9:00 砂浜清掃活動 大島地区 11:00 → 昼食 → 13:00 地引網体験 大島地区 14:00 → 14:30 各種体験 大島地区 16:00 → 16:30 宿泊施設へ

3日目
8:40 気仙沼大島出発（お別れ式） 9:10 → 帰路

★このコースの特徴★
東北最大の有人離島である大島にて、ボランティア活動を通じて震災を知り、地元の方とふれあうことで人と人との「きずな」を学ぶことができます。

防災学習

見る

リアス・アーク美術館

東北・北海道の作家を中心とした様々なジャンルの作品を数多く収蔵しており、企画展・共催展も年数十本程度開催しています。地元ゆかりの作家の美術作品を展示するほか、「食」を中心とした地域の民俗・生活資料を紹介する「方舟日記」と「東日本大震災の記録と津波の災害史」を常設展示しています。

〒988-0171 宮城県気仙沼市赤岩牧沢138-5
TEL 0226-24-1611　FAX 0226-24-1448
E-mail riasark.m@nifty.com
【開館時間】午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
【休館日】毎週月・炭・祝日の翌日（土・日除く）
年末年始（12/28～1/3）
【メンテナンス休館】（1/4～下旬）
※メンテナンス休館の日程はホームページで
※ご不明な点は直接お問合せください。

唐桑半島ビジターセンター

唐桑半島ビジターセンターは国立公園に指定されている唐桑半島の美しい自然と海と共に生きる人々の暮らしや文化を紹介しています。現在は、東日本大震災写真展を開催しており、漁港や商店街などの震災後の写真を展示しています。

唐桑町観光協会（唐桑半島ビジターセンター内）
〒988-0554 宮城県気仙沼市唐桑町崎浜4-3
TEL・FAX 0226-32-3029
【お問合せ受付・開館時間】午前8時30分～午後4時30分
【休館日】毎週炭（但し当日が祝日の時は翌日）

体験する

唐桑半島ビジターセンター・津波体験館

津波体験館は、東日本大震災の記録や教訓も加えた防災教育に役立つ映像内容に、音響や振動などを組み合わせ、津波の疑似体験ができる施設です。

聞く

震災復興語り部ガイド

2011年3月11日、午後2時46分に発生した東日本大震災により、三陸沿岸部は未曾有の被害を受けました。そんな被害を乗り越えて逞しく生き抜く人々の様子を話す団体です。震災を体験した語り部が、専門知識や経験を生かして、被災時やその後の対応、そして復興に向けた歩みを説明します。

1. 震災に関わる様々な説明が可能です

30名を超える、様々な職種、震災を体験した語り部が、専門の知識や経験を活かして、被災時やその後の対応、そして復興へと向けた歩みを説明します。

2. 講演、バスの中で、現地案内などスタイルを選べます

時には会場を貸し切って、またバスの中で…等。視察や旅行のスタイルに合わせて、様々な方法で語り部ガイドをすることが可能です。

3. 気仙沼全地域を使ったコースを作成できます

リアス式海岸の風光明媚な唐桑半島。東北最大の有人離島である大島。漁師としての歴史が深い階上。海と山の恵み豊かな本吉。そして、日本有数の漁港である歴史ある気仙沼の内湾地区。この全てのフィールドを使って、バリエーション豊かなコースを作ることが可能です。

【お申し込み・問い合わせ先】気仙沼観光コンベンション協会
〒988-0077 宮城県気仙沼市古町3-2-41
TEL 0226-22-4560　FAX 0226-22-9280

気仙沼の歴史・文化を知る

観光ボランティアガイド気仙沼

「観光ボランティアガイド気仙沼」は、気仙沼の歴史や文化、景観を愛し、全国からお越しのお客様に、ガイドブックでは知ることの出来ない情報や見どころを、おもてなしの心を込めてご案内いたします。

主な観光ガイドコース

●魚市場ガイドコース
三陸漁場を控え、カツオ、サメ、サンマなど日本有数の水揚高を誇る気仙沼市魚市場の見学です。予約制で、見学時間は午前6時から正午まで。漁船OBであるガイドがご説明いたします。所要時間45～60分。

●内湾ガイドコース
（安波山ガイドコース）
内湾一帯は昔から漁港の雰囲気を残しており、港まちならではの風情や歴史に触れるコースです。市民憩いの山「安波山コース」もあります。所要時間60～90分。

●文化財ガイドコース
●岩井崎ガイドコース
●気仙沼大島ガイドコース
●唐桑半島ガイドコース
●その他ガイドコース
徳仙丈山敵策ガイドコース／伝説探訪ガイドコース／鹿折金山跡ガイドコース

【お申し込み・問い合わせ先】気仙沼観光コンベンション協会　〒988-0077 宮城県気仙沼市古町3-2-41
TEL 0226-22-4560　FAX 0226-22-9280

Stay with the Ocean　　海と生きる

気仙沼市

×

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

令和2年度版

ワンバス対応OK!!

体験プログラム

気仙沼では
「今、これできます！」

Stay with the Ocean　海と生きる

気仙沼市 × SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

東日本大震災を学ぶ

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（最大受入可能人数約200人）

リアス・アーク美術館（最大受入可能人数約60人）

震災復興語り部ガイド（要相談）

震災からの復興の道のり

「東日本大震災からの新しい街づくり」

「持続可能な漁業を」

大型バス1台分でできること！

漁業・水産業を学ぶ

アサヤ株式会社

株式会社 岡本製氷冷凍工場

NPO法人 浜わらす

Stay with the Ocean　海と生きる

アサヤ株式会社

最大受入人数40～45人まで

漁師と共に170年！老舗漁具屋探検ツアー

体験時間　約60分

アサヤ株式会社
専務取締役　廣野　一誠さん

1850年に気仙沼で商業した「アサヤ株式会社」は、創業以来気仙沼をはじめとする三陸沿岸の漁業を支えてきました。
釣糸を作るための麻を買い付けてくることから始まった商いは、時代とともに広がり、現在は3万点以上の商品を扱っています。
想像以上に豊富な種類、理にかなった素材や形状、初めて見る漁具の数々にたくさんの驚きと学びが得られることをお約束します。

体験可能時間
8:00　17:00
最終受付16:00

通年受入れOKです！

基本的に建物内なので雨でもOKです！

タイムスケジュール(予定)

- 00:00 集合
- 00:02 あいさつ
- 00:05 現場へ移動
- 00:07 探検開始
- 00:50 終了・バスへ移動
- 00:52 乗車前に最後のあいさつ
- 01:00 終了

Stay with the Ocean　海と生きる

株式会社 岡本製氷冷凍工場

最大受入人数40～45人まで

たかが氷？されど氷！水産と観光の融合を見届けよ！

1日1回の限定プログラム！

70分間のオカモト・オブ・アイス

体験時間　約70分

株式会社 岡本製氷冷凍工場
専務取締役　岡本　貴之さん

水産都市気仙沼には欠かせない氷屋。魚市場では水揚げされる魚の鮮度を保つため、大量の氷が使用されます。その氷を製造している工場に潜入し、氷屋の仕事を体験・体感しながら学んでもらいます。また、氷屋プロデュース「氷の水族館」も見学してもらいます。気仙沼の魚を氷で包んだ「氷のアート」が展示されており、幻想的なアイスブルーの巨大な氷や光と映像が織りなす、日本で唯一の空間へ是非お越しください。

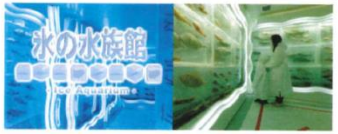
体験可能時間
から70分
15:00

通年受入れOKです！

15:00から16:10までのプログラムです。

上記以外の時間の場合はご相談下さい

工場と氷の水族館の移動は徒歩で行ないます。
雨天時は傘をご準備下さい。
体験・見学は建物内で実施します。



タイムスケジュール(予定)

- 00:00 製氷工場集合
- 00:02 あいさつ・説明
- 00:08 製氷工場内見学
- 00:20 氷切体験
- 00:30 かき氷試食
- 00:40 質疑応答
- 00:45 移動
- 00:55 氷の水族館到着
- 00:57 あいさつ・説明
- 01:00 氷の水族館見学
- 01:10 終了

Stay with the Ocean　海と生きる

NPO法人 浜わらす

最大受入人数40～45人まで

ビーチクリーンでゴミアート！！

体験時間　約120分

NPO法人 浜わらす
代表　笠原　一城さん

世界中で問題になっている海洋ゴミ。いつまでも綺麗な海を保っていくために、私たちができることを考え、実行します。ビーチクリーンをしながら、拾った貝殻や海洋ゴミを使ったフォトフレームづくり。ゴミだとは思えない出来栄えに、きっとびっくりするはず。海洋ゴミが自分だけの宝物に変身します。海のゴミの現状を知ることが、海を大切にする心を育むことに繋がります。

体験可能時間
8:00　17:00
最終受付16:00

通年受入れOKです！

軍手か手袋をご準備下さい。

雨天・悪天候時はビーチクリーンを中止し、フォトフレーム作りのみ行います。

タイムスケジュール(予定)

- 00:00 集合
- 00:15 団体紹介 海洋ゴミについて
- 00:25 海岸へ移動
- 00:30 ビーチクリーン
- 01:00 移動
- 01:10 フォトフレーム作り
- 01:50 フォトフレーム完成
- 02:00 終了

Stay with the Ocean　海と生きる

令和2年度版
ワンパス対応OK！
体験プログラム

体験料金のご案内

受入先団体名	メニュー名	受入可能人数	料金(定価)	備考
アサヤ株式会社	漁師と共に170年！ 老舗漁具屋探検ツアー	40～45人	20,000円 (団体まとめての料金)	・雨天でも対応可能
株式会社 岡本製氷冷凍工場	たかが氷？されど氷！ 水産と観光の融合を見届けよ！ 70分間のオカモト・オブ・アイス	最小31人～ 最大45人	1,700円 (1人あたり)	・雨天でも対応可能 ただし、移動時に傘が必要となりますのでご準備下さい。 ・氷の水族館入館料込みの料金です。
NPO法人　浜わらす	ビーチクリーンでゴミアート！	最大40人	2,000円 (1人あたり)	・軍手か手袋をご準備下さい ・ビーチクリーンの場所からフォトフレーム作りの会場まで徒歩での場合は通常のタイムスケジュールにプラス40分程度移動時間が必要となります。

※受入先の状況によっては受入れをお断りする場合がありますので、ご了承下さい。

※上記メニューについてのお問い合わせは、
(一社)気仙沼観光コンベンション協会
宮城県知事登録旅行業第３−388号
電話:0226-22-4560　E-mail:k-kanko@k-macs.ne.jp　までお願いします。
(受入先団体へ直接のお問い合わせはご遠慮願います)

Stay with the Ocean　　海と生きる

体験場所のご案内

体験前にHPもぜひご覧ください！

アサヤ

気仙沼「海の市」からバスで約15分

www.asaya.co.jp/about/

HP「アサヤ　気仙沼」で検索！

岡本製氷

気仙沼「海の市」から徒歩で約3分

「氷の水族館」は気仙沼「海の市」の中にあります

http://okamotoseihyo.jp/

HP「岡本製氷　気仙沼」で検索！

はまわらす HAMAWARASU

気仙沼「海の市」からバスで約30分

https://hamawarasu.org/

HP「浜わらす　気仙沼」で検索！

＜感染症対策＞　2022年7月現在
内容を変更する場合がある為、詳細はお問合せください

館内利用	入館時にご利用者様全員の検温をさせていただいております。 37.5度以上の発熱や風邪症状が認められた場合は、保健所の指示に従い、ご利用をご遠慮いただく場合がございます。 保健所とは土日祝日も含め連絡体制を確立しております。 館内移動についてはマスクの着用をお願いしています。
客室	全客室の清掃において毎日十分な換気を行い、ドアノブ・取っ手・リモコンやスイッチなどお手を触れられる箇所を重点的に除菌用アルコールにて拭きあげ、仕上げております。ひと部屋にお入りいただく人数を最大でも定員マイナス1名でのお部屋割りをご提案いたします。 ＜参考＞　和室8畳　推奨人数3名（定員4名） 和洋室　　推奨人数2名（定員2名）
食事	原則として、一般利用のお客様と時間を分けて対応をさせて頂きます。 食事レイアウトは下記の目安をご参照ください。 ＜参考＞　スクール形式　56名 交互　　48名
お風呂	原則として、一般利用のお客様と時間帯を分けて対応をさせて頂きます。 ＜参考＞　ご利用目安　男女各10名
最新情報	https://www.qkamura.or.jp/kesen/blog/detail/?id=34574
その他	旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づくサービス提供をさせて頂きます。 上記以外の対応につきましては可能な限りご要望を承ります。担当までご相談ください。

10. 緊急のご連絡先

医療機関	大島医院 気仙沼市高井215-2	TEL　0226－28－2603	休暇村から車で5分
	気仙沼市立病院 気仙沼市赤岩杉ノ沢8-2	TEL　0226－22－7100	休暇村から車で30分
消防署	気仙沼消防署 大島出張所 気仙沼市廻舘113-1	TEL　0226－28－3098	休暇村から車で5分
警察署	気仙沼警察署 大島駐在所 気仙沼市廻舘113-1	TEL　0226－28－2619	休暇村から車で5分
保健所	宮城県気仙沼保健福祉事務所 気仙沼市東新城3-3-3	TEL　0226－22－6661	休暇村から車で30分

11. ご予約・お問合わせは

休暇村 気仙沼大島　〒988-0603　宮城県気仙沼市外畑16
Tel.0226-28-2626　Fax.0226-28-2627

休暇村協会　営業本部　販売促進課
TEL:03-3845-8652　FAX:03-3845-8658

休暇村協会　休暇村大阪センター
TEL: 06-6343-2290　FAX: 06-6343-0134